

がん患者の薬物治療最適化を目指した薬剤師主導型ポリファーマシー対策の効果： 処方薬剤数変化の実態調査

1. 研究の対象

2021年10月～2024年12月の期間で国立がん研究センター中央病院(以下、「当院」という。)に入院され、薬剤師主導のポリファーマシー*対策チームで処方見直しが検討された18歳以上の方

※多くの薬を飲んでいるために副作用を起こしたり、きちんとくすりが飲めなくなったりする状態をいいます。単に服用する薬の数が多いことではありません。

2. 研究目的・方法

研究目的：当院のポリファーマシー対策の成果を検証するために実態調査を行い、また、薬を減らすこととなった要因の検証を行って、今後の質の高いポリファーマシー対策の活動を展開していくための基礎材料とすることを目的としました。

研究方法：研究対象者の診療録や当院のポリファーマシー対策の記録から定期的に服用している薬剤等の情報を抽出し、解析を行います。

研究実施期間：研究許可日～2026年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

服用している薬剤数・薬剤の種類、病歴、血液検査値等

4. 情報の授受

本研究は単機関研究であり、他機関への情報提供は行いません。

5. 研究組織・研究責任者

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 道家 由行

6. お問い合わせ等

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

情報が研究に用いられることについて研究対象者の方もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報を守られます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒104-0045

東京都中央区築地 5-1-1

電話：03-3542-2511 （代表）

担当者の所属・氏名：国立がん研究センター中央病院 薬剤部 道家 由行